



学校や教科を越えてつながる

小・中・高の学習の系統性

傷害の防止

交通事故や、地震などの自然災害などによる傷害(けが)は、どのような要因が関わり合って起こるのでしょうか。また、傷害の発生を防いだり、症状を悪化させたりしないためには、どのようにしたらよいのでしょうか。

保健編 3章

1. 傷害の発生要因	62
2. 交通事故の発生要因	64
3. 交通事故の危険予測と回避	66
4. 犯罪被害の防止	68
5. 自然災害による危険	70
6. 自然災害による傷害の防止	72
● 共に生きる(発展)	74
7. 応急手当の意義と方法	76
8. 心身衛生法	79

地域の防災委員を担うための寸劇「防災の絆は地域の絆は」の発表の様子(高知県高島市南洲中学校)

▲p.61 保健編3章の扉

小・中・高を通じた学習の系統性に配慮し、章の扉に、その章の学習に関連する小学校の学習内容と高校の学習内容を明記しました。

小学校で学習したこと

中学校で学習すること

高校で学習すること

カリキュラム・マネジメント

随所に「他教科マーク」を設け、他教科の学習内容との関連を簡潔に示し、系統的かつ発展的な指導ができるようにしました。また、他教科の教科書紙面を確認できるDマークコンテンツを用意しています。

- 口絵7【支え合って生きている】
- P.62【傷害の発生要因】
- P.86【さまざまな自然災害の危険と安全な避難】
- 理科1年【地震に備えるために】
- 家庭【災害に備えた住まい】
- 地震防災

▲p.72 保健編3章「6.自然災害による傷害の防止」

5 災害への対策

自分の住む地域の災害の危険性について理解できる。
 日録 地震など災害への備えについて考え、対策を工夫できる。

考えてみよう

あなたが住んでいる地域では、どのような災害に備えておく必要があるか考えよう。

年	災害名	死者・行方不明者数(人)
1923年9月	関東大震災	(約 105,000)
1959年9月	伊勢湾台風	(5,098)
1990年11月～1995年6月	築港輸送火	(44)
1995年1月	阪神・淡路大震災	(6,437)
2004年10月	新潟県中越前地震	(68)
2011年3月	東日本大震災	(22,252)
2011年8～9月	平成23年台風第12号	(98)
2012年11月～2013年3月	平成24年の大雪等	(104)
2014年9月	熊本地震	(63)
2016年4月	熊本地震	(273)
2018年6～7月	平成30年7月豪雨	(245)

内閣府「令和3年版防災白書」より作成

【Dマーク】他教科連携【防災・減災手帳】

【他教科】社会(地理) 自然災害と防災への取り組み

【保健体育】自然災害による傷害の防止

【理科】自然の働きと災害

【家庭】防災の備えと対策

【地域】日本の地震と防災・減災

日本は地震、津波、豪雨、台風、洪水、土石流、豪雪、竜巻、火山の噴火など自然災害が多い国です。そのため、常に防災や減災について意識しておく必要があります。災害に備えるうえでは、自分の住んでいる地域でどのような災害の危険があるかを知っておくことも重要です。

そして、事前に地域の情報を調べ、災害が起きたときの避難方法や避難場所、消火器の設置場所等について家族や友達といっしょに確認しておきましょう。また、食料や水の備蓄、防災用品の準備、家具などへの対策が必要です。

【Dマーク】地域の揺れと人の体感・行動

震度	人の体感・行動
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。
1	屋内で静かになっている人の中には、揺れを感じている人がいる。
2	屋内で静かになっている人の大半が、揺れを感じる。
3	ほとんどの人が強く、歩いて居る人の足を止すが、揺れを感じる。
4	大半の人が、揺れを見え、物につかまらなると感じる。
5	大勢の人が、物につかまらなると感じる。行動に支障を感じる。
6	立てることができず、揺われないと歩くことができない。揺れに揺られる。動くこともできず、飛ばされることもある。
7	揺れに揺られる。動くこともできず、飛ばされることもある。

気象庁Webページより作成

174

▲Dマークコンテンツ 東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野」